

Office of the Chairperson



Postbus 1452, NL-3500 BL Utrecht, Netherlands
Tel: +31-30-8895306 Fax: +31-30-2322989
Emails: ilpschair@casema.nl & ilp515@runbox.com
Web URL: <http://www.ilps.info>

第15回AWC-CCB会議への 国際民衆闘争同盟（ILPS）からの連帯メッセージ

国際民衆闘争同盟（ILPS）は、米日のアジア支配に反対するアジア・キャンペーン（AWC）が2012年1月27日から2月1日にかけて韓国でおこなう第15回キャンペーン調整委員会（CCB）会議に対して最も戦闘的なあいさつを送ります。

1月28日・29日のAWC-CCB会議に、AWC韓国委員会、アジア共同行動日本連絡会議、フィリピンBAYAN、台湾労働人権協会、米国・ANSWER連合、KASAMMA-KO、インドネシアの活動家が参加すると聞いています。また、民主労総など韓国のさまざまな民衆団体の活動家たちも参加するだろうと聞いています。

われわれはまた、皆さんがCCB会議の後にチェジュ島を訪問し、カンジョン村での新たな海軍基地建設に抵抗している民衆への連帯と支援を示す予定だと聞き、深く喜んでいます。東アジアで高まる米国と日本の戦争準備・戦争挑発に反対することは、東アジアおよび全世界の民衆にとって喫緊の課題です。

われわれは、AWCが1992年にアジア太平洋地域の民衆団体のネットワークとして発足して以来、反帝国主義・民主主義の路線のもとで、帝国主義者と反動政権に対して協同して闘い、参加団体間の共同闘争と相互支援を推進してきたことに敬意を表します。われわれは、AWCがILPSの信頼できる傑出した共闘組織であることを誇りに思っており、AWCの参加団体がILPSにも参加していることを嬉しく思っています。

われわれは、WTO、APEC、G8サミットなど帝国主義が支配し新自由主義グローバリゼーションを推進する国際会議・国際機関に対して、また、帝国主義の侵略戦争、軍事介入、さまざまな国での民衆弾圧に対して、AWCが成功裏に共同行動をおこなってきたことを高く評価しています。われわれはまた、AWCがアジアからの米軍総撤収を要求して一貫して闘い、民族主権と民衆の民主的権利を尊重してきたことを知っています。

世界資本主義体制の危機の急速な深まりと労働者・民衆のなかでの失業・貧困の拡大に対決することが、現在、きわめて重要になっています。帝国主義者たちは、その危機のツケをいっそう民衆に押しつけようとしています。アジア太平洋地域においては、かれらは韓米自由貿易協定、環太平洋パートナーシップ協定（TPPA）、さらにはアジア太平洋自由貿易圏構想（FTAAP）など、二国間・多国間のFTA/EPA締結交渉を推進しています。

同時に、米国はその在外兵力をアジア太平洋地域に集中することを発表しました。米国はそれが中国に対する対抗・包囲であり、朝鮮民主主義人民共和国に対する脅迫・圧力であることを公に語っています。韓国・チェジュ島での新たな海軍基地建設、日本での米軍の再編と強化、フィリピンへの米軍の再駐留などは、すべてのこの米国の侵略的戦略の文脈のなかにあり、アジア太平

洋地域の軍事的緊張を高めています。

米国は韓国を支配し、日本との安保同盟を永続化するために、朝鮮民主主義人民共和国に対する戦争挑発を意図的におこなっています。米国は、フィリピンに軍事基地を再確立する口実にするために、西フィリピン海を含む南中国海でも緊張をつくりだしています。さらに、米国は東アジアでの紛争介入を支援するために、太平洋とオーストラリアの軍事基地を利用しています。米国は軍事力を使って、この地域に自らの覇権を押しつけようとしているのです。

ますます深まる世界資本主義体制の危機は、搾取と抑圧、ファシズムと戦争のエスカレーションを引き起こしています。しかし、帝国主義国においても被支配国において、プロレタリアート人民は抵抗に立ち上がり続けています。ウォール街占拠運動は、独占ブルジョアジーと金融寡頭制に対する、また、侵略戦争と国家テロリズムに対する、米国各地での抗議行動を鼓舞しています。東西ヨーロッパでは、債務危機と民衆にさらなる負担を課す緊縮財政政策に反対して、大規模な抗議とゼネストがおこなわれています。

中東・北アフリカでは、広範な人民大衆が決起し、長期にわたって政権の座についていた独裁者たちを打倒しました。かれらは反帝国主義的・民主主義的な抵抗の道をさらに進もうとしています。なぜならば、米国を先頭にした帝国主義列強の側も、彼らの選択した反動派とともに支配体制を熱心に守ろうとしているからです。また、世界の他の国々では、帝国主義の侵略・占領と反動的な支配体制に対して闘う武装革命運動が続いています。

今回のAWC－CCB会議は、独占ブルジョアジーの深刻な危機、世界の激動と人民の決起のなかで開催されます。われわれは、みなさんがこの重大な局面に対処し、より大きな自由、民主主義、社会正義、全面的な発展、平和に向かう人民の闘争の前進に貢献するためになすべきを決定されることを望んでいます。

参加者間で状況、見解、提案を交し合い、米軍基地や原発の問題を含む2012年の共同闘争の全面的な計画を採択することで、AWC－CCB会議が最大限の成功を収めることを願っています。みなさんの会合が人民の反帝国主義・民主主義闘争を新たなより高い段階に引き上げることを期待しております。

2012年1月27日

ホセ・マリア・シソン
国際民衆闘争同盟（ILPS）議長